

1 交通調整会議の位置づけ

藤沢駅南口駅前広場計画とりまとめ（平成31年度）

藤沢駅南口駅前広場等あり方検討会議

目的

藤沢駅周辺活性化に資する南口駅前広場のありき姿及びデッキ再整備の方向性にかかる意見、提案をいただく会議。

委員

学識経験者
市民代表（鵠沼地区）
地元経済団体（商工会議所・商店会連合会）
隣接街区等権利者
鉄道事業者
藤沢市

藤沢駅南口交通広場調整会議

目的

藤沢駅南口の交通結節機能の向上を目指し、検討素案をベースとして、関係者間の調整を図る会議。

委員

学識経験者
バス事業者
タクシー事業者
鉄道事業者
藤沢市
交通管理者（オブザーバー）

連携

1 交通調整会議の位置づけ

藤沢駅南口交通広場調整会議

会議の位置づけ

目的

藤沢駅南口の交通結節機能の向上を目指し、検討素案をベースとして、関係者間の調整を図る会議。

委員

学識経験者
バス事業者
タクシー事業者
鉄道事業者
藤沢市
交通管理者(オブザーバー)

開催予定

H29年度 2回 H30年度 2回程度

各回の議題(案)

第1回

本調整会議の設立、藤沢駅南口の現状と課題、意見交換

第2回

交通広場再整備の考え方について

第3回

交通広場再整備の方向性について
藤沢駅南口駅前広場計画について

第4回

藤沢駅南口駅前広場基本計画について
今後の検討について

H29年度

H30年度

スケジュール(案)

	H29年度							H30年度											
	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
交通広場調整会議				★								★			★				
あり方検討会議		★			★		★		★				★		★				
藤沢市の動き	アンケート							基本計画案の作成											

2 アンケート調査の結果について

（1）アンケート調査の概要

1) 調査の趣旨

現在の藤沢駅南口駅前広場及びデッキ等について、良いと思うところや課題だと思ふところ等を尋ね、再整備の計画の検討材料とするもの。
(藤沢駅南口駅前広場とつながる地下道についても併せて尋ねた)

2) 配布日時

2017年（平成29年）11月26日（日） 7:00～19:00
2017年（平成29年）11月30日（木） 7:00～19:00

3) 配布箇所

南口デッキ上2箇所とデッキ下3箇所、北口地下通路1箇所の計6箇所。

4) 配布対象

配布箇所の通行者（バス待ちも含む）の全員を対象とする。

5) 配布方法

調査員が通行者に対してアンケート用紙を配布する。
回収は郵送（受取人払い）とした。

6) 配布数

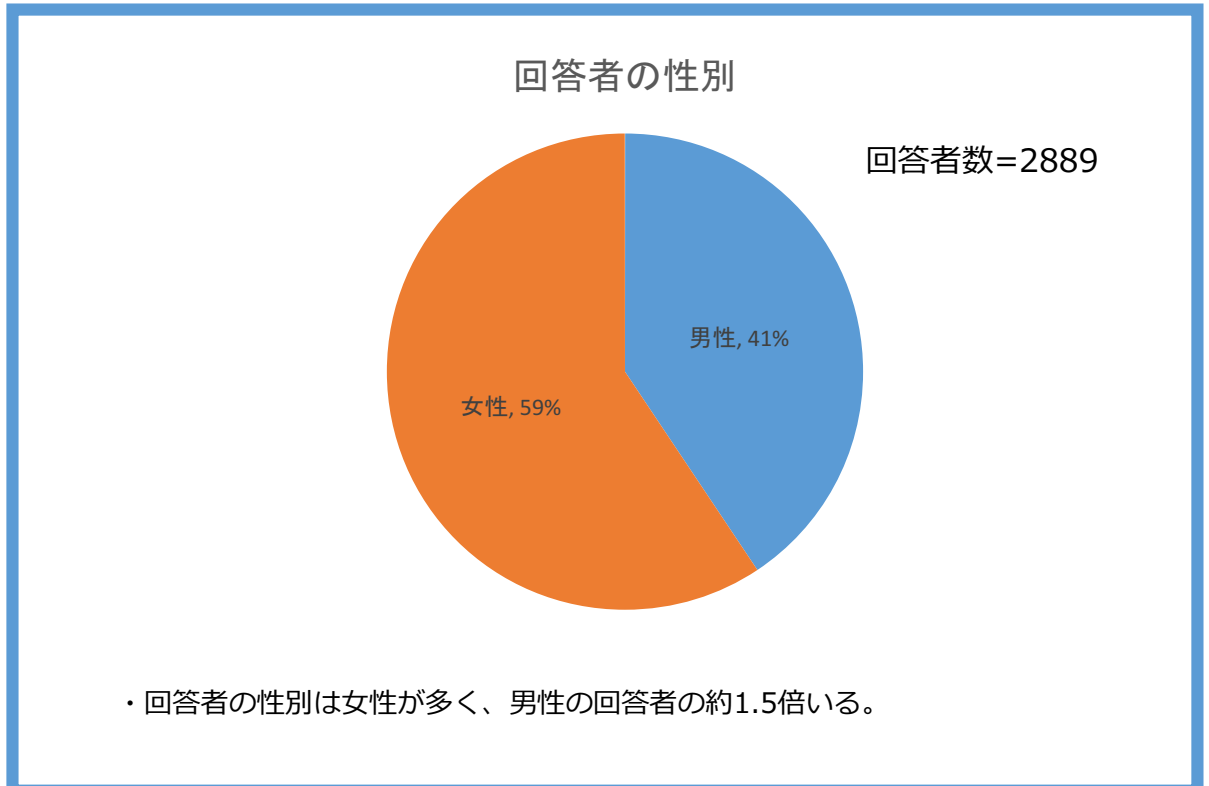
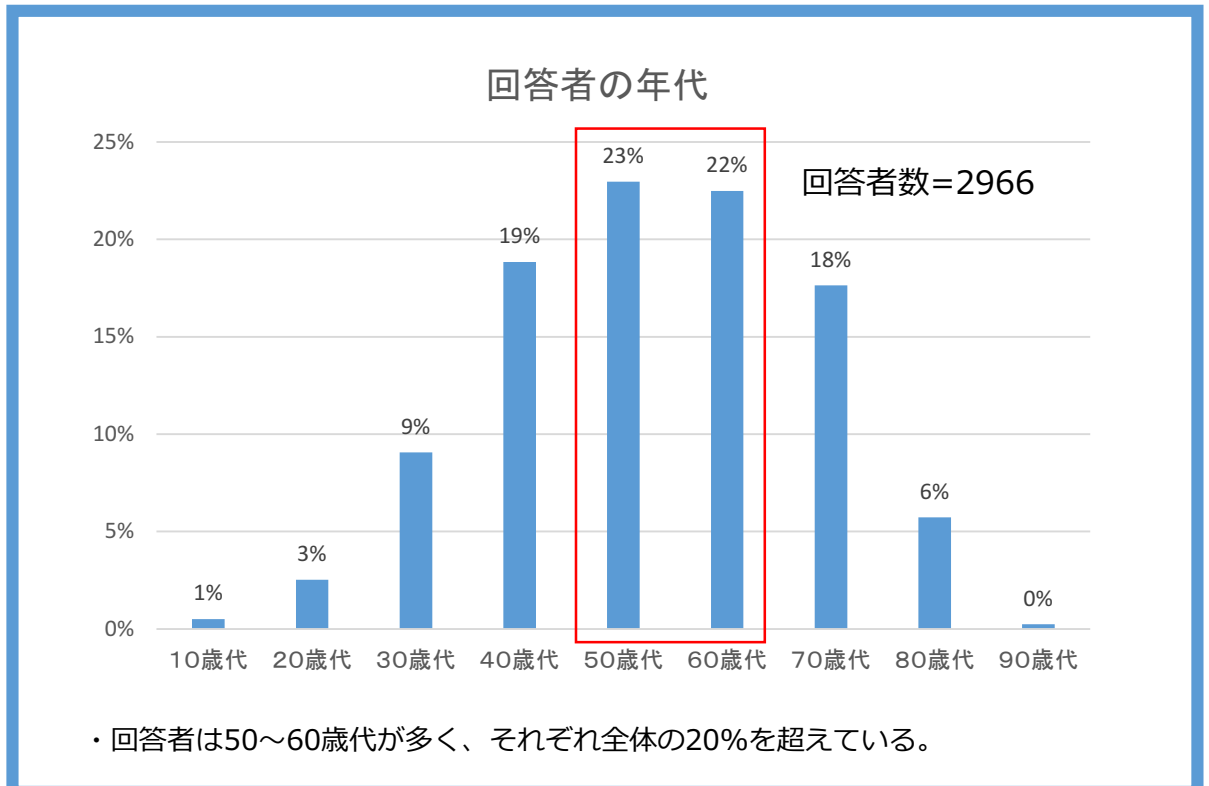
各日4,000票、2日間で8,000票

7) 回収票

3,053票（回収率38.2%）
休日：1,572票
平日：1,481票

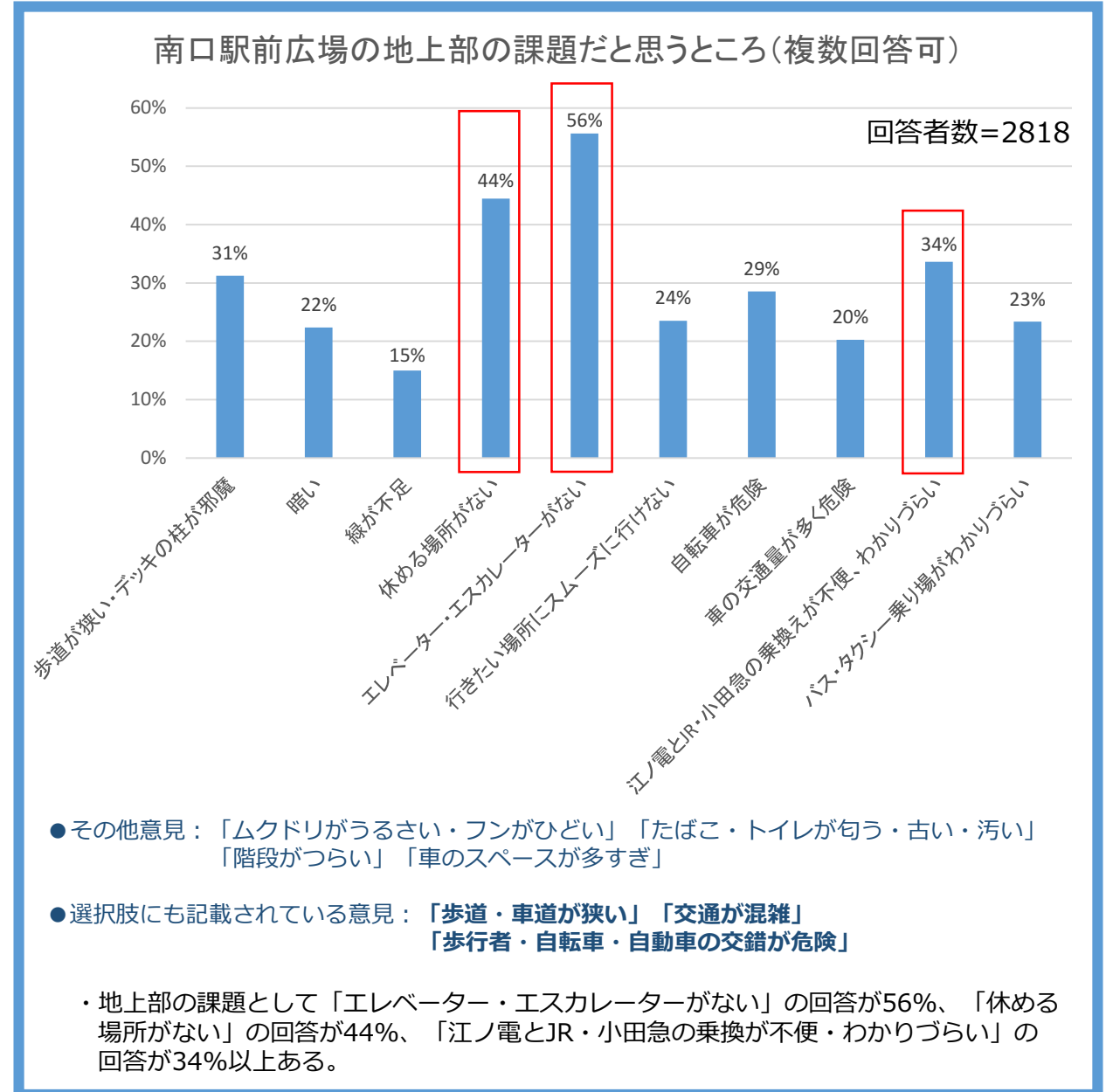
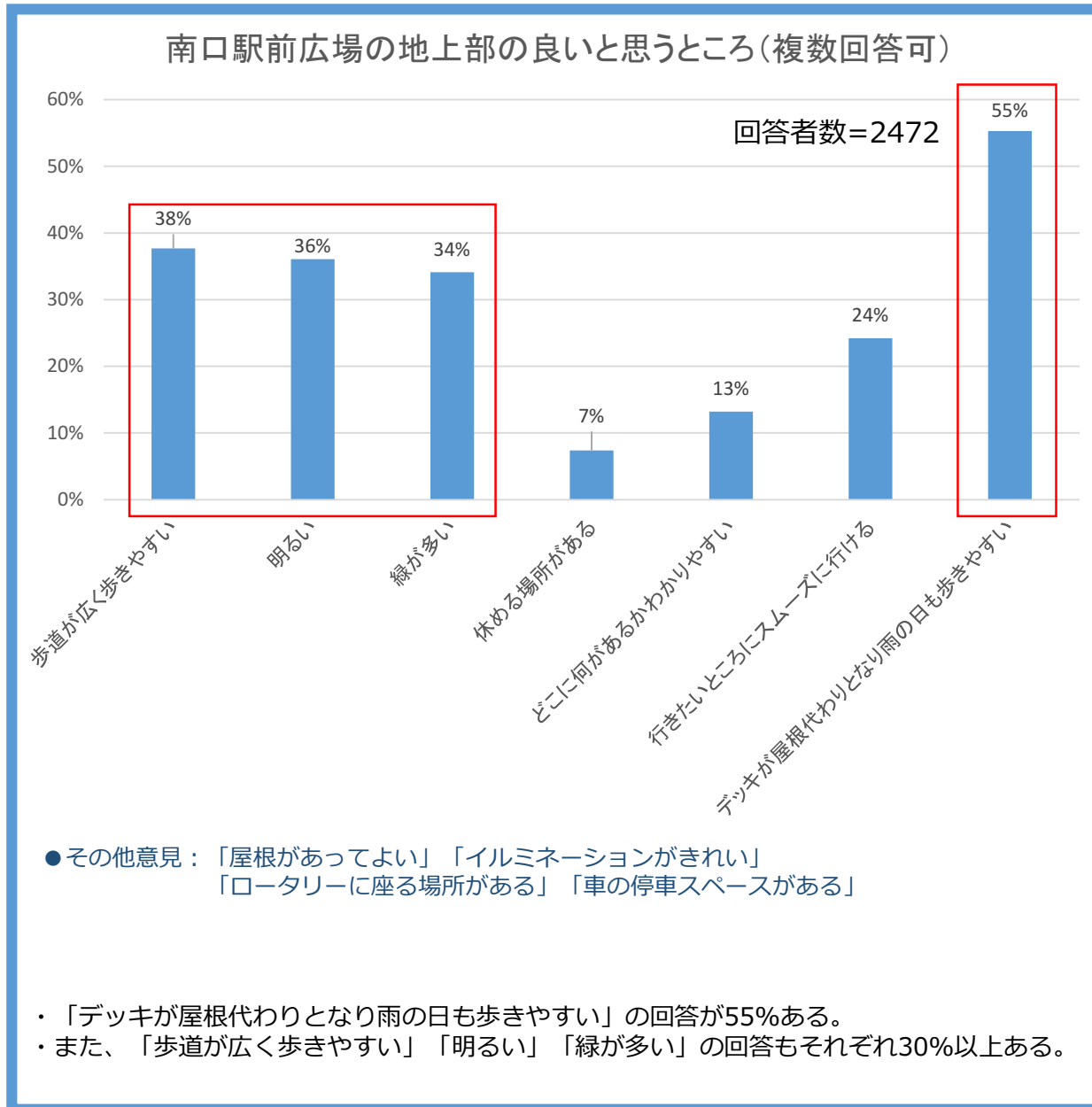
（2）アンケート調査の結果

1) アンケート回答者の属性



2 アンケート調査の結果について
 (2) アンケート調査の結果

2) 南口駅前広場の地上部の良いと思うところ・課題だと思ふところ

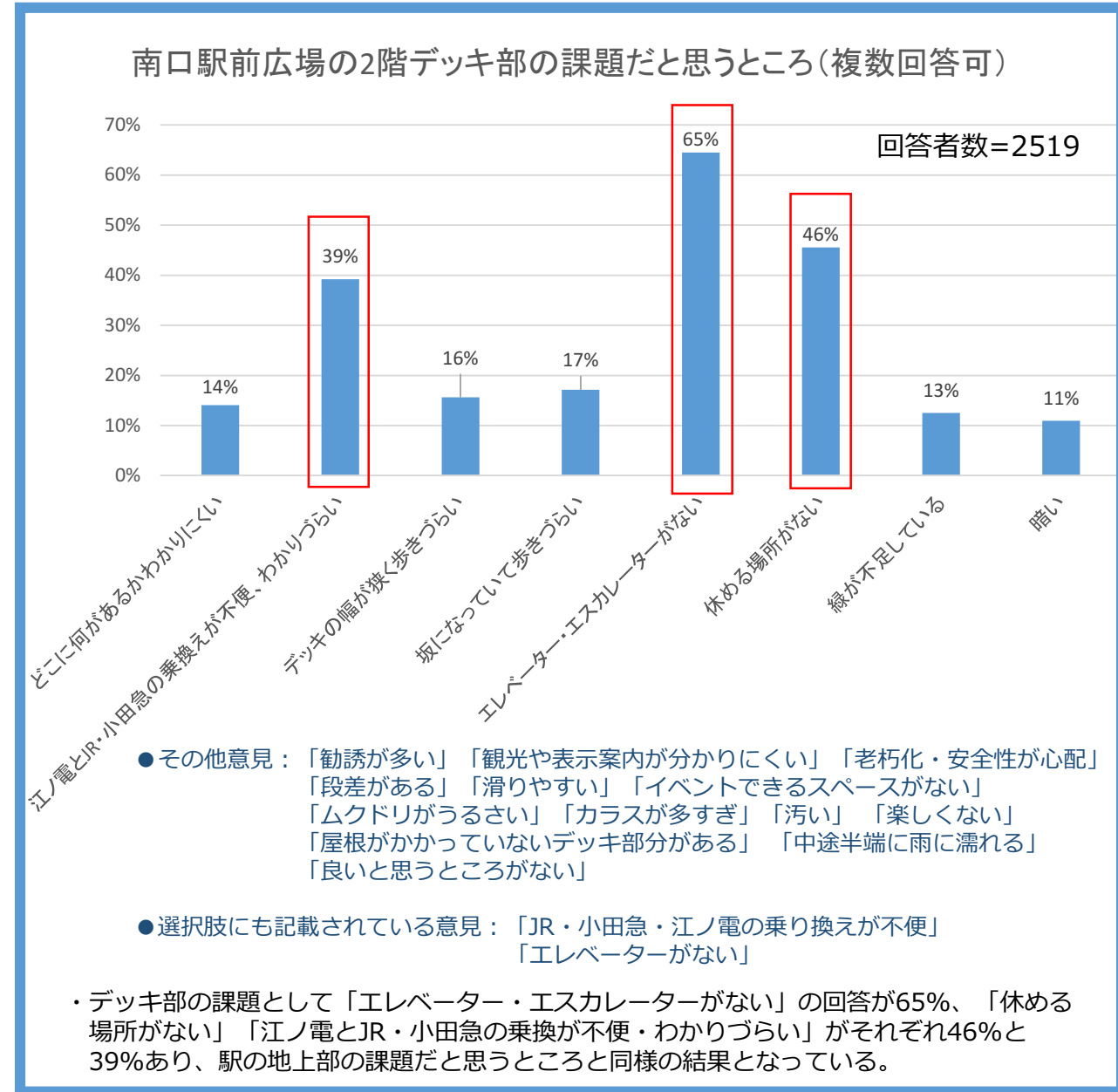
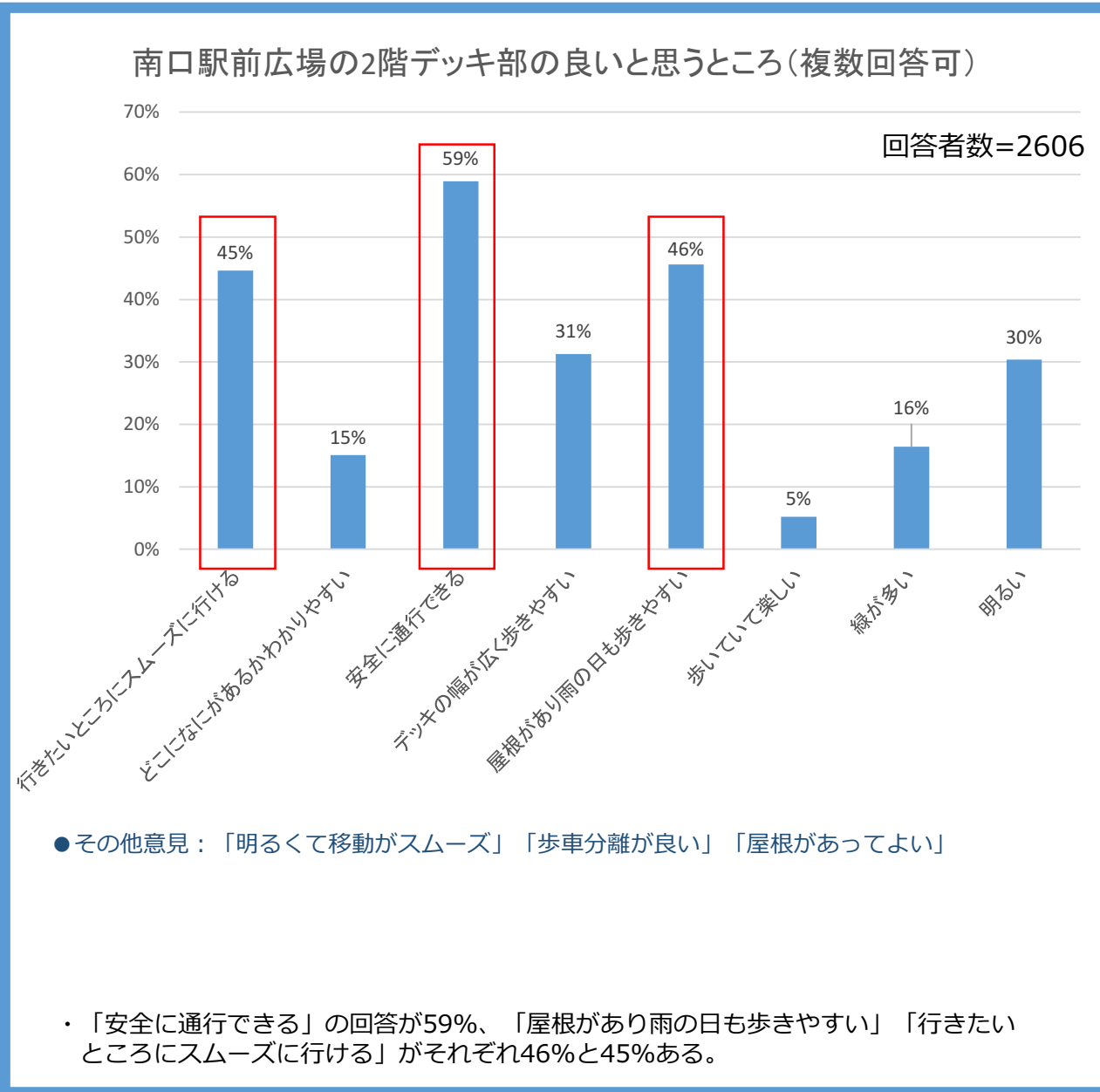


→地上部は「デッキが屋根代わりとなり雨の日も歩きやすい」「歩道が広く歩きやすい」「明るい」「緑が多い」等、**歩行や通行の際に快適だと思っている回答者もいるが**、「歩道が狭い」「交通が危険」等、**地上部は交通の交錯が危険だと感じている回答者も一定数いる。**

その一方、「エレベーター・エスカレーターがない」「休める場所がない」「乗換えが不便、わかりづらい」等の、**設備の不足や不満の回答を選択している回答者が多く、改善すべき課題であると考えられる。**

2 アンケート調査の結果について
 (2) アンケート調査の結果

3) 南口駅前広場の2階のデッキ部分の良いと思うところ・課題だと思ふところ



→デッキ部は「安全に通行できる」「屋根があり雨の日も歩きやすい」「行きたいところにスムーズに行ける」等、

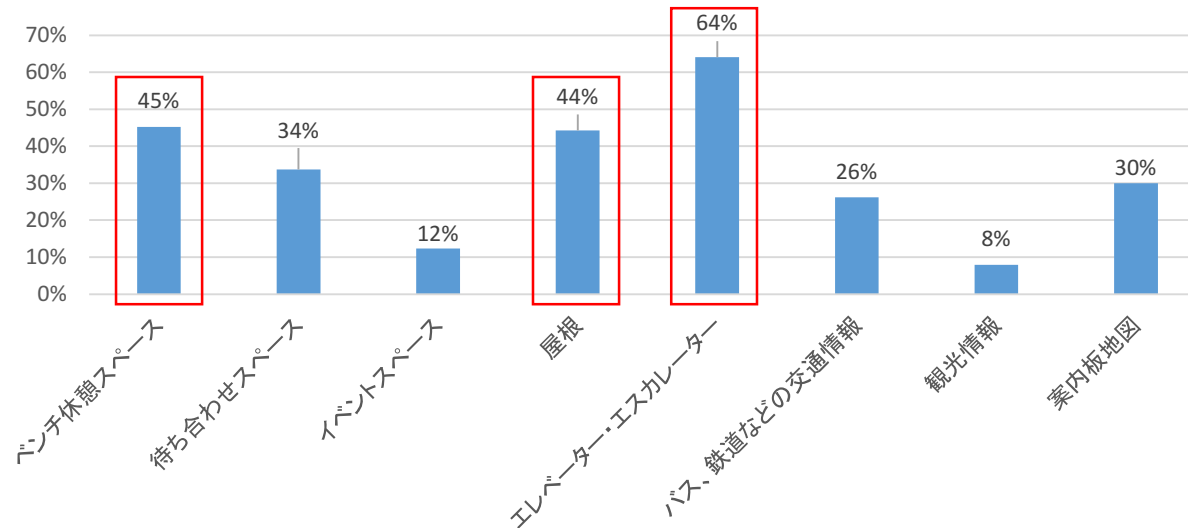
移動のしやすさを良いと思っている回答者が多い。

その一方、「エレベーター・エスカレーターがない」「休める場所がない」「乗換えが不便、わかりづらい」が、地上部の課題だと思ふところと同様に設備の不足や不満の回答が多い結果となっており、駅として大きな課題であることが推測できる。

2 アンケート調査の結果について
 (2) アンケート調査の結果

4) 南口駅前広場にあったらよいもの

南口駅前広場にあったらよいもの
 (複数回答可) 回答者数=2865



- その他意見：「標識」「きれいなトイレ」「バリアフリー化が必要」「イベントスペースが不要」「混雑の解消」「モニュメントがほしい」「明るくしてほしい」
- 選択肢にも記載されている意見：「案内板」「エレベーター」

- ・「エレベーター・エスカレーター」「ベンチ休憩スペース」「屋根」「待ち合わせスペース」「案内板地図」の順で南口駅前広場にあったらよいと感じられている。特に「エレベーター・エスカレーター」は回答者の64%が選択している。
- ・一方で、「観光情報」は8%、「イベントスペース」は12%にとどまっている。

→「エレベーター・エスカレーター」「ベンチ休憩スペース」「屋根」といった、移動のしやすさを向上させてほしいといった意見がよく見られた。

2 アンケート調査の結果について
 (3) アンケート調査の結果まとめ

＜南口駅前広場地上部について＞

- 「デッキが屋根代わりとなり雨の日も歩きやすい」の回答が非常に多い。
- 「歩道が広く歩きやすい」「明るい」「緑が多い」の回答も割合が大きい。
- ×「エレベーター・エスカレーターがない」の回答が半数以上あった。
- ×「休める場所がない」の回答も多い。
- ×「江ノ電とJR・小田急の乗換が不便・わかりづらい」の回答も比較的多かった。

＜南口駅前広場デッキ部について＞

- 「安全に通行できる」の回答が多い。
- ×「エレベーター・エスカレーターがない」の回答が半数以上。

＜南口駅前広場に必要な機能について＞

- ▶「エレベーター・エスカレーター」「ベンチ休憩スペース」「屋根」「待ち合わせスペース」「案内板地図」の順で多い。

＜藤沢駅の印象について＞

- ▶「ほどよく田舎」「日常の買い物に便利」「商業施設が多い」「江の島、鎌倉、湘南の入り口」「緑が多い」といった意見が多い。
- ▶一方、「老朽化」「狭い・暗い・ごちゃごちゃしている」などネガティブな意見も見られた。

＜南口駅前広場での過ごし方について＞

- ▶「藤沢産のものを買いたい」「くつろげるスペースのある駅前」「イベントができる場所」「駐車場、駐輪場が欲しい」といった要望が多くみられた。

3 これまでの意見

（1）第1回交通調整会議における意見

■ 日 時：2017年（平成29年）12月8日（金）14時15分～16時00分

■ 場 所：藤沢商工会館（ミナパーク） 303会議室

■ 委員からの主な意見・課題

<乗り換えにおける課題>

駅全体について

- 鉄道間の乗換がわかりにくい。
- 北口・南口のバス路線が利用者に把握されておらず、南北を間違える人が多い。

南口について

- バス乗り場が分散していてわかりづらい
- 通勤時のバス待ち行列が長く、歩行者の通行の妨げとなっている。

<駅前広場内の動線の交錯における課題>

- 駅前広場で車両が6方向から流出入しており、バスとタクシーの動線が交錯し危険。
- タクシープール等道路を横断する歩行者が多く、危険。
- 横断歩道の歩行者の通行量が多く、車との動線の交錯しており、危険。

<駅前広場への一般車の流入における課題>

- 降雨時等に一般車の流入が増加し、バス運行に遅れが生じる。
- 周辺商業施設への動線としての一般車動線は必要かもしれないが、駅前広場内や周辺の道路状況としてはうまく棲み分けする必要がある。

<荷捌き車両における課題>

- 一般車の乗降場や、駅前広場の周辺の道路に荷捌き車両が駐停車しており、他の車両の通行の妨げとなっている。
- 一般車乗降場で荷をおろし、その荷物を広場内を横断して周辺街区へ運んでおり、危険である。

<駅前広場周辺の歩行者における課題>

- 駅周辺では歩行者の利用が多く、歩行者にとって必要なものを検討すべき。

<周辺の道路状況における課題>

- 狭い道路が多く、死角も多く危険である。
- 周辺道路のネットワークが藤沢駅に車両が集中してしまう構造になっている。

<駅前広場に必要な機能について>

- 南口駅前広場として、受け止めるべき機能と広場の外で解決すべき機能を整理し、駅前広場の運用とマネジメントの方策を検討していくべき。

1) 緑地

- 駅前広場の面積に対して、緑地が広すぎるのではないか。
- 規模にもよるが、駅前広場に憩える空間というものは必要である。
- 必ずしも緑豊かな駅前広場が良いというわけではない。

2) 駐輪場

- 駅前広場内での駐輪場整備は難しい。

3) その他の空間

- 自動車だけでなく、駅前広場にあると良い空間を検討していきたい。
- イベント等ができる空間があると良い。

第1回交通調整会議のまとめと今後の進め方について

- 現状の交通広場では、**各車両動線の交錯や一般車の流入量の多さ、荷捌きも含めた広場内の乱横断等の課題**がある。また、公共交通の利用者視点から、**乗換の案内不足やバス待ち空間の不足等**も大きな課題となっている。
- 市民や利用者視点での駅前広場としての「あるべき」姿を検討し、**駅前広場内に必要な交通機能を運用とマネジメントの観点で議論し、広場内で受け止めるべき機能と周辺と連携する機能**を検討していく。

3 これまでの意見
 (2) 藤沢駅南口駅前広場等あり方検討会議の意見

第1回の意見のまとめ

< 藤沢駅の施設について >

- イベント広場がほしい
- 鉄道乗り換えがわかりづらい
- 駅全体としてのバリアフリー化が必要

< 南口駅前広場のデッキについて >

- デッキが老朽化して汚い
- デッキから地上におりる階段が長い

< 南口駅前広場の歩行環境について >

- バリアフル・不便である
- 駅前広場の配置が車優先となっており歩行者にとって不親切

< 周辺とのつながりについて >

- 駅と周辺のつながり・回遊性が弱い

< ソフト的な取組について >

- 再整備後の管理や運営等のエリアマネジメントを実施すること

< 藤沢駅のイメージについて >

- 藤沢駅に藤沢らしさがない
 - ・藤沢らしさが感じられなくなってきた
 - ・活気が感じられにくくなった
 - ・駅としてのコンセプトが必要

ワークショップ（第2回）のまとめ

< 藤沢らしさ >

まち全体の印象

- ▶平均点を少し上回った生活
- ▶古いまちであるが、高級住宅地・別荘地
- ▶潮風、明るい、暖かい、柔らかい、優しいといったイメージがある湘南の中心地。

環境・気候

- ▶緑が豊かで気候も暖かく住みやすい場所。
- ▶駅から富士山の見える景色。
- ▶ほっとするような空気感がある。
- ▶湘南らしいかっこよさ、センスのよさを感じる

観光資源

- ▶観光資源が豊かなまち（江ノ電・江の島、花火大会、箱根駅伝、遊行寺、藤沢宿）

< 藤沢駅にあっという間と思う機能、空間、過ごし方等について >

交通機能

- ▶歩きやすい歩行空間（曲線のデッキ、屋根）
- ▶気軽に自転車で来られる駅へ。

滞留機能

- ▶市民が使えるような憩える場所、休憩できる場所
- ▶立ち止まれる、くつろぐ、遊べるような、ゆったりとした明るく過ごしやすい空間。
- ▶食べ歩きや市場、レトロ感のある商店街や飲み屋街。
- ▶イベントや待合わせができる場所や広場

観光・ブランディング・藤沢らしさ

- ▶藤沢というブランドを育てる。
- ▶湘南観光の玄関として立ち寄ってもらうための機能。
- ▶富士山や江の島が見えるような展望スペース

第3回の意見まとめ

< 特色について >

- ▶藤沢ならではの「魅力」だけでなく、「特色」を取り入れた空間づくりと変えるべきではないか。また、藤沢の特色・魅力としては「開放感・開放性」といったものがキーワードになる。

< 発信力について >

- ▶“藤沢”を強調しすぎても発信力が弱いため、江の島や湘南といったキーワードが必要になる。

< 特色の取り入れ方について >

- ▶海を「特色」として、ヨットの形をした街灯を駅前に作るようなことはやめるべきである。「特色」として海を取り入れるとしても、JRの小田原駅のような開放感のある屋根を設け、一体的な駅と駅前広場となる取り入れ方をすべき。

< 交通の需要と回遊性について >

- ▶藤沢駅南口駅前広場は交通の需要に対して十分な広さはないと思う。その一方、人を周辺の市街地へ回遊させる工夫も必要である。

< 地下通路へのスロープの可能性について >

- ▶現在地下通路へ接続しているスロープ状の斜面は、野外劇場のような空間として人々に活用される可能性があり、391街区で検討されている再開発と併せて検討する必要がある。

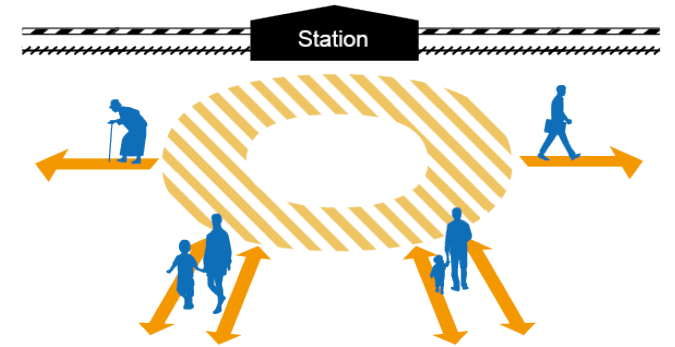
< 観光に対する考え方について >

- ▶観光を目指した駅前広場づくりは適切ではない。市民にとって魅力的な駅前広場をつくるのが重要であるのではないか。

3 これまでの意見
 (3) 南口駅前広場整備方針（案）について

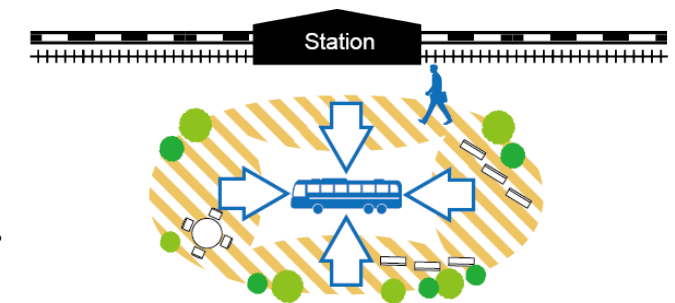
方針① 歩きやすい歩道の整備と周辺の街へのつながりの強化

- ▶誰にとってもより歩きやすい歩道づくりを心掛け、乗換動線や地上部も含めて移動のしやすい歩道づくりを行う。
- ▶周辺の街区や商業施設へのアクセスの向上を図り、街全体を人が回遊しやすくなるような駅前広場を整備する。
- ▶段差解消や勾配軽減等のバリアフリー化を徹底し、高齢者にも歩きやすい空間とする。



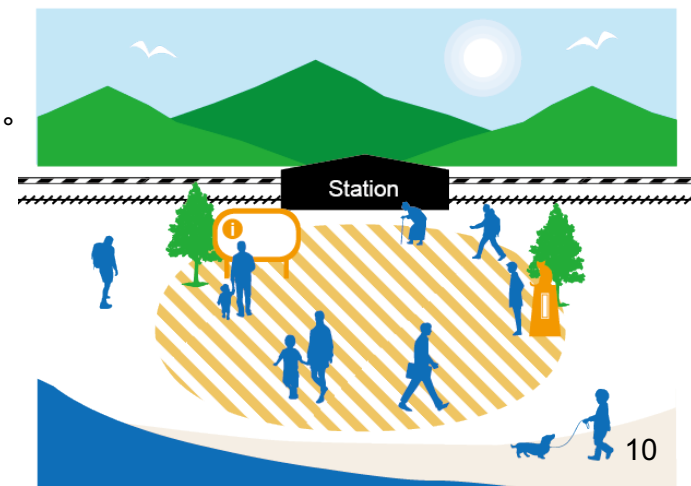
方針② 歩道と車道のバランスを整え、市民が居場所として過ごせる広場づくり

- ▶現状の通り過ぎてしまうだけの駅前広場に市民が過ごせる滞留スペースを新たに整備する。
- ▶ちょっとしたイベントや、休憩、こどもが遊べるような機能を設ける。また、その場所を適切に使われるように維持管理を行い、居心地のよい場づくりをする。
- ▶駅前広場内に必要な機能の整理を行い、車道空間と歩道空間の再配分することで広場内にたまり空間を創出する。



方針③ 藤沢ならではの魅力を取り入れた空間づくり

- ▶藤沢の資源（海が近い温暖な気候や、落ち着いた豊かな暮らし、江の島や藤沢宿等の歴史的資源等）を活かし、駅前広場のデザインとして藤沢らしさを取り入れることで、全体的な雰囲気も含めて魅力的な空間づくりを行う。
- ▶湘南観光への玄関機能として、観光案内や藤沢の魅力をアピールできるような情報発信を行う。
- ▶待ち合わせや来街者への目印となるようなシンボル機能について検討を行う。



4 南口交通広場の整備の考え方（案）
 (1) 南口交通広場検討の方針と各検討事項（案）について

方針① 歩きやすい歩道の整備と周辺の街へのつながりの強化

検討事項

- ①-1 地上部の歩いて心地よい空間づくり
 →駅前広場を囲む歩行者動線を現況よりも拡幅し、広々として歩いて心地よい空間にする。
- ①-2 街の個性がにじみだす空間づくり
 →周辺の街の個性がにじみだすような空間を随所に設け、駅前広場と周辺の街へのつながりを高める。

方針② 歩道と車道のバランスを整え、市民が居場所として過ごせる広場づくり

検討事項

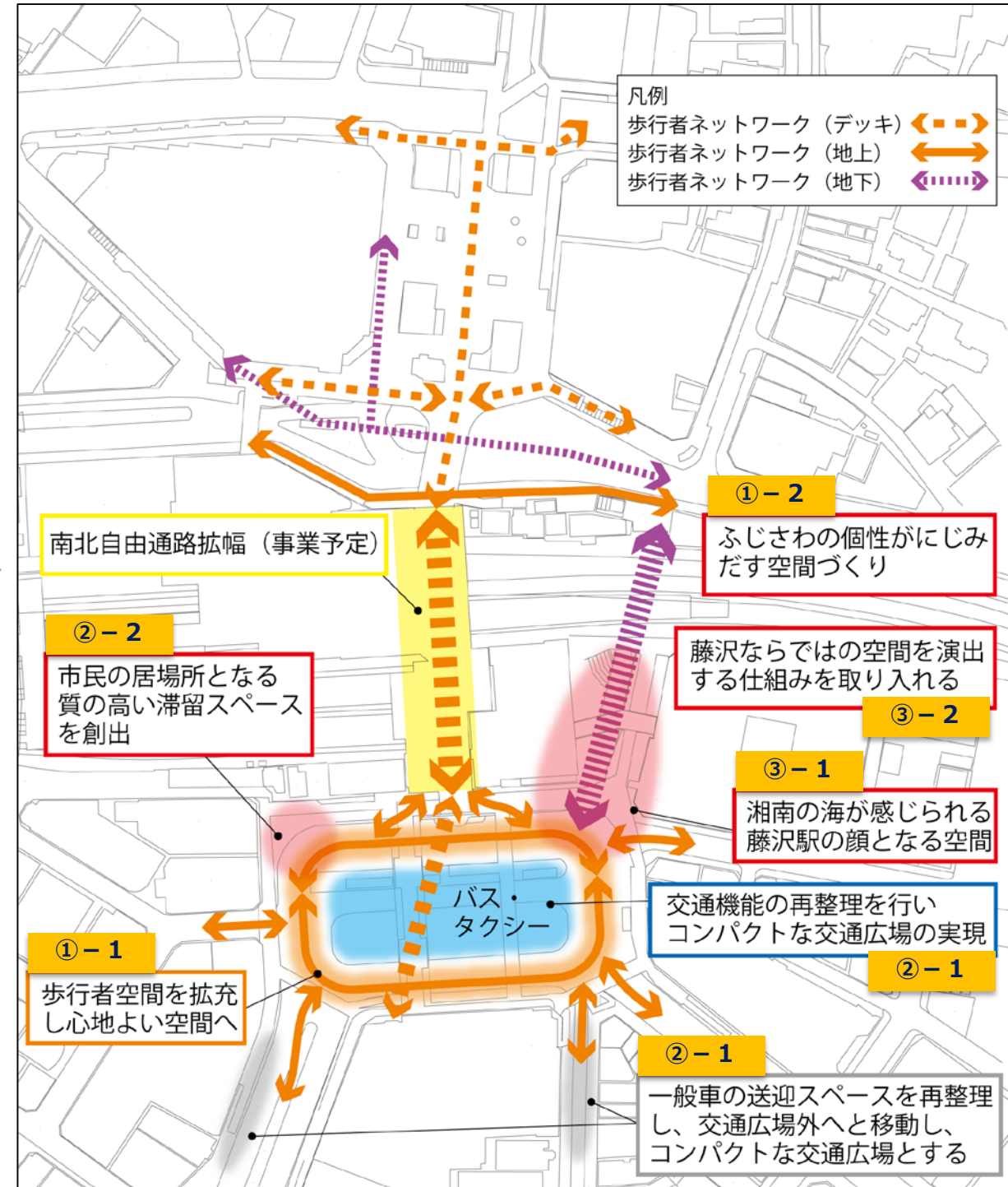
- ②-1 交通広場へ導入する機能の再整理
 →交通広場は公共交通（バス・タクシー）を中心とし、安全性を向上し、コンパクトな広場とする。一般車乗降スペースは交通広場外に設けスペースの効率化と、周辺施設へのアクセス性の向上を図る。
- ②-2 市民の居場所となる広場を生み出す
 →駅前広場に空間的な余裕をつくりだし、市民が使うことのできる空間と仕掛けを設ける。

方針③ 藤沢ならではの魅力を取り入れた空間づくり

検討事項

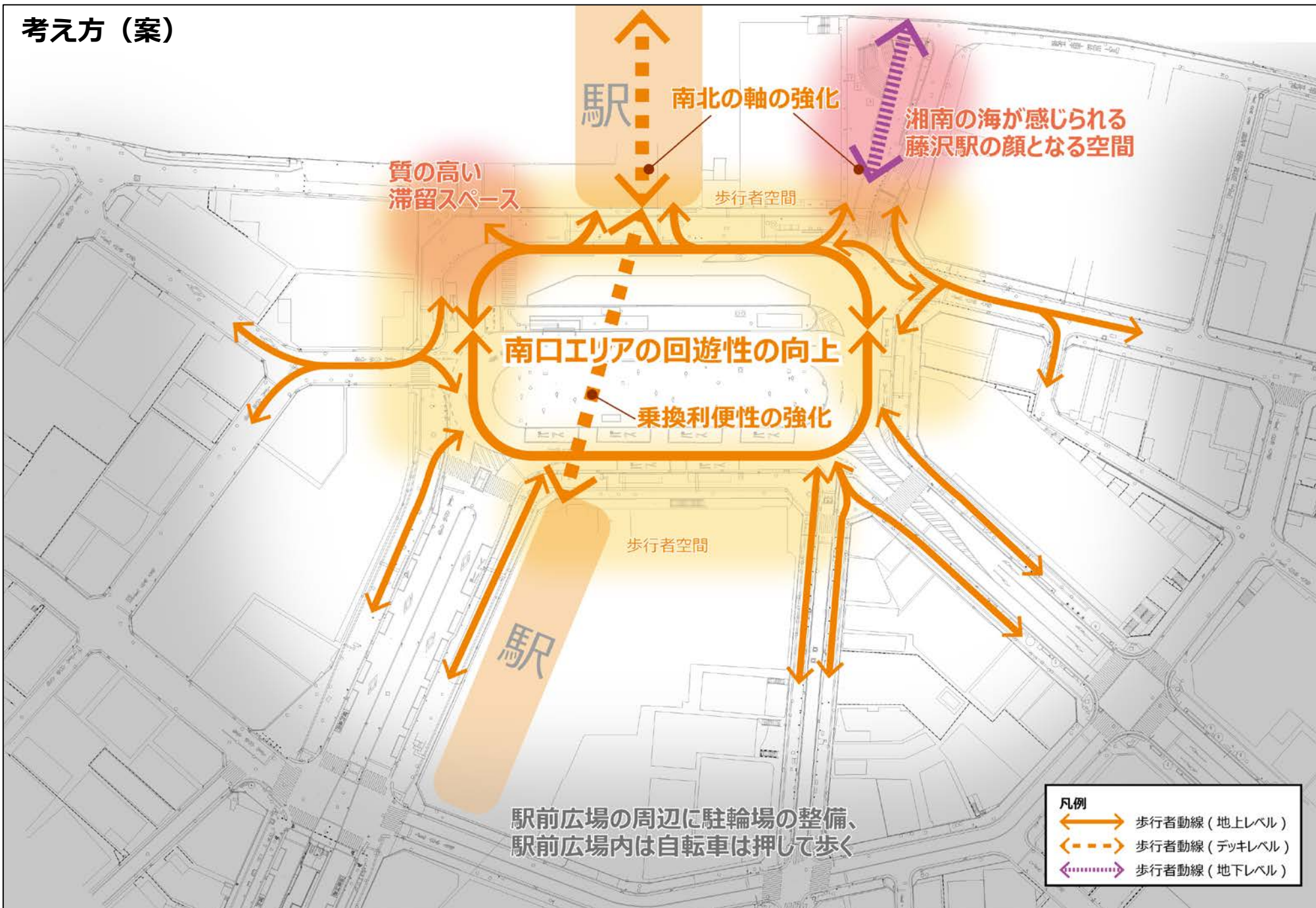
- ③-1 湘南の海を感じられる、藤沢駅の顔となる空間づくり
 →歴史的な江の島道と、江ノ電旧路線の2つの軸線をデザインに取り込むことで、湘南の海とのつながりを感じられる、藤沢駅の顔となる空間づくり。
- ③-2 藤沢ならではの空間を演出する
 →藤沢の広い空やゆったりと流れる空気感を演出するため、集まる、座る、休む、緑に触れる等が出来るさまざまな仕組みを取り入れる。

■整備の考え方（案）



4 南口交通広場の整備の考え方について
 (2) 骨格となる歩行者・自転車動線の考え方 (案)

各手段	検討方針
歩行者	ゆとりある歩道幅員の確保と段差解消等のバリアフリー対応を行い、歩きやすい歩行環境づくりを行う 地下から接続する部分、デッキと接続する部分等に昇降施設を含むわかりやすい上下移動空間を検討する。 回遊ネットワークと乗換利用のネットワークを上下で分離し、地上部の回遊性を高めることを検討する。
自転車	基本的には広場の外側周辺に駐輪場を誘導し、広場内は押して歩くことを原則とする。



4 南口交通広場の整備の考え方について
 (3) バス・タクシー・一般車動線の考え方（案）

各手段	検討方針
バス	乗降スペースを集約化する。駅前広場への出入り動線を南側に限定し、一部路線変更を検討する。
タクシー	自由通路にできる限り近い場所に乗降スペースを設けるとともに、プールの待機台数の見直しと移設を検討する。
一般車	送迎スペースは、広場内には設けずに、広場の出入口の手前で行う。 ロータリー内の荷捌き等を規制するためにも、ロータリー内の一般車両の通過は基本的に規制することを検討する。

